



発行 / 明石市立市民病院  
編集 / 明石市立市民病院広報委員会  
〒673-8501 兵庫県明石市鷹匠町1-33  
電話(078)912-2323  
ホームページURL  
<http://www.city.akashi.hyogo.jp/hospital/shiminhosp/index.html>

## 地方独立行政法人明石市立市民病院の発足にあたって

理事長 藤本 莊太郎



当院は、本年10月1日より明石市の病院事業から独立し、「地方独立行政法人明石市立市民病院」としてスタート致しました。地方独立行政法人とは、病院が明石市の100%子会社となって医療に特化した組織になることにより、医療制度の変更や地域医療のニーズの変化などに迅速に対応し、医師・看護師確保や患者サービスの向上など、より柔軟な病院運営を行うことを目的とするものです。市から独立するといいますが、従来通りの政策医療を始めとして市民のための病院としての診療内容が激変することはありません。

この地方独立行政法人には、明石市から提示された5年ごとの中期目標に対する中期計画を病院が立てて、それを職員が一丸となって計画的に実行していくことが求められています。今回のスタートにあたりましては、以下の目標を定めております。(それぞれの目標に対する中期計画につきましては、当院ホームページをご参照ください)

### 1. 市民のための病院としての役割の明確化

#### (1)高度な総合的医療の提供

多くの診療科を有する高度な総合病院として急性期医療を提供する。

#### (2)地域医療支援体制の構築

地域の医療機関の後方支援を行い協働して医療を担う体制を築く。

#### (3)市と連携した政策医療の実施

市の保健・福祉行政との連携のもとに政策医療を実施する。

#### (4)市内で不足する医療機能の補完

現在または今後市内で不足するとされる回復期や終末期の関連病棟の整備を図る。

2. 「安心の医療確保政策」に基づくがんや脳血管障害、周産期・小児科医療、救急医療などの医療機能の整備
3. 利用者本位の信頼と納得の医療サービスの向上
4. 医療安全を含む医療の質の向上
5. 地域医療機関との連携や地域社会、諸団体との交流など地域とともに推進する医療の提供
6. 以上の診療体制を進めるための人材確保や人材育成システム、人事制度の整備
7. 経営管理体制の確立と財務内容の改善

これらの目標は、「患者中心の安全で高度な医療を提供し、市民の生命と健康を守り、市民からの信頼に応える」という当院が掲げて参りました病院基本理念を遂行するための不可欠の要素となります。

私たちは、この地方独立行政法人への移行を病院変革のチャンスと捉えてこの原点に立ち返り、改めて“市民のための市民病院”として再生発展できるように、病院内部の組織体制を一新して、職員が1+1を3にする心意気で再出発いたしました。大変高い目標ではありますが、患者様や地域医療機関の皆様へ信頼され愛される地域中核病院となるべく、私たちは一歩一歩計画を進行させて努力してまいります。

皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 「かかりつけ医」について

地域医療連携課

かかりつけ医とは言葉の通り、患者さまが普段からかかっている医師のことです。日頃から健康状態や病気のことを知ってくれて、困った時や気になったことを身近にいてアドバイスをしてくれる顔なじみの医師です。

病気かな？と思ったら、まずはかかりつけ医に診察していただきましょう。たとえば、「風邪をひいた」「熱が出た」「下痢をした」などの症状で薬が欲しい時、病院にかかったら長時間待たされあげくに診察が数分で…という不満の声を聞きます。そんなときは、まずかかりつけ医を受診すれば待ち時間も少なく診察を受けることができますね。

かかりつけ医をもつことは、日頃から患者さまや家族の方とお付き合いすることで、薬の出し方や治療方法も分かってスムーズな治療につながります。何よりもかかりつけ医をもつことで患者さまがメリットを得られるのです。

### メリット①

初対面の医師にかかるより、気心の知れた医師ならあまり気を使うことなく話のやり取りができます。体調が悪い時もこと細かく説明しなくても普段から診てもらっている医師なら的確な診断を迅速にすることが期待できます。

### メリット②

診察の結果、より高度な検査や入院の必要があれば、かかりつけ医から適切な専門の病院へ紹介してもらうことができます。かかりつけ医があれば普段の状態はもとより詳しい診療情報（これまでの病歴など）も提供できますのでスムーズな連携が行えます。かかりつけ医と専門の病院との間で情報を密に共有することは患者さまにとってもメリットになります。

### メリット③

救急車で初めて搬送される病院では、かかりつけ医がいることで直接連絡し、普段の病状やお薬の情報を正確に得ることができます。



患者さまの近くに何でも相談できる、かかりつけ医がいることは、日々の健康管理に役立ち、また、緊急時や家族の方が病気になった時や介護が必要な状況の場合は相談にもものってもらいやすく、とても心強いのではないのでしょうか。

自宅や職場の近くで、かかりつけ医を探すお手伝いを地域医療連携課でも行っています。

## シンボルマークについて

総務課

平成23年10月1日の地方独立行政法人への移行に合わせ、シンボルマークの募集を行い、合計51作品の中から、大阪府在住の塩崎歩美さんの作品に決定しました。



シンボルマークは、「明石市立市民病院」のローマ字の頭文字「A」と、「人」（患者さんと医師）をモチーフにして、医療のこころをやさしさのハートと共にデザインし、「患者さんから親しまれ、信頼に応える」病院の姿勢を全体で表現しています。

今後、病院で配布する冊子や封筒などに使用します。

# 明石市立市民病院外来診察予定表

外来診察予定については、変更する場合がありますので、ご確認下さい。

平成23年10月1日現在

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 (注1)	1診	専門外来再診	佐々木 享(初診)	真嶋 隆文(糖尿病)	午前:中川(久)/午後:丹田	奥 成聡(血液)	中島 寿樹(糖尿病)
	2診	再診/予約診	丹田 修司(腎臓透析)	佐々木 享(高血圧高脂血症)	佐々木 享(高血圧高脂血症)	金川 修身	奥 成聡(血液)
	3診	初診	松本 剛	金川 修身	宮川 浩太郎	宮川 浩太郎	榎井 孝之
	4診		(完全予約制 9~12時) 13.5W 西馬 照明(呼吸器) 2.4W 奥 成聡(血液)		午後:佐々木 徹	城戸 秀典(腎臓透析PM) 真嶋 隆文(糖尿病PM)	
	5診	1.3.5W	奥 成聡(血液)				
循環器内科	1診		橋本 哲也		阪本 健三		中川 裕介
	2診		浅田 聡	今井 幹昌	塚本 正樹	阪本 健三	塚本 正樹
	ペースメーカー外来			阪本 健三(3W)			
神経内科 (*1)		再診のみ 予約制	午前:佐竹 渉		横田 一郎		大塚 喜久
消化器内科 (*2)	1診	完全予約制	藤本 二郎	和田 貴子(1.4.5W) 大学肝研Dr(2W) 大学消化管Dr(3W)	松本 次弘	松本 次弘	藤本 莊太郎
	2診	完全予約制					藤本 二郎
心療内科 ・精神科	1診	予約診	忠井 俊明	山崎 敦史	忠井 俊明	忠井 俊明	忠井 俊明(新患のみ2回) 山崎 敦史(忠井以外の日)
	(午後)	予約診	忠井 俊明(児童思春期)	山崎 敦史	忠井 俊明(心理療法)	忠井 俊明(うつ病)	濱田 伸哉(精神疾患)
	2診(午前)	予約診	岸本 智数(新患のみ)	岸本 智数		堀内 瞳(心理検査・カウンセリング)	岸本 智数
	2診(午後)	予約診		岸本 智数/小林 実(2.4W)	岸本 智数(不安障害)	堀内 瞳(心理検査・カウンセリング)	岸本 智数(パニック障害)
3診	予約診		忠井 俊明(1.3.5W)		山崎 敦史(認知症)		
小児科 (注2)			貴名 貞之	森 保彦	平嶋 良章	柴田 真弓	交代制
外科	1診	初診/予約診	森田 修司	藤木 博	満尾 学	満尾 学	満尾 学/門谷 洋一
	2診	予約診	園山 宜延	満尾 学/神田 圭一(2W)	安岡 利恵	藤木 博	森田 修司
	乳腺外来	予約診			満尾 学		満尾 学/門谷 洋一
	血管外来	予約診		神田 圭一(2W)/藤木 博			
整形外科 (注2)	1診	初診/予約診	國友 泰輔	景山 直人	担当医	山田 充彦	松井 隆明
	2診	予約診	山田 充彦	松井 隆明		國友 泰輔	景山 直人
脳神経外科				齋藤 実(11:00迄)	齋藤 実	秋山 英之	齋藤 実
皮膚科			野田 洋介	野田 洋介	野田 洋介	野田 洋介	森野 幸子
泌尿器科 (注3)		予約診	山中 邦人		木下 佳久	山中 邦人	木下 佳久
産婦人科 (注4)	1診	初診	小林 八郎	橘 敏之	橘 敏之/小林 八郎	乾 昌樹	乾 昌樹
	2診	再診/妊婦検診	乾 昌樹	小林 八郎	小林 八郎		橘 敏之
	助産師外来	予約診			谷川 明美		
眼 科	1診	予約診	交代制	辻村 まり	辻村 まり	交代制	辻村 まり
	2診	予約診		中西 頼子	中西 頼子		中西 頼子
	3診	予約診		末吉 理恵	末吉 理恵		末吉 理恵
耳鼻咽喉科 (*2)				森岡 繁文(11:00迄)		予約制:柴田 敏章(11:00迄)	柴田 敏章(11:00迄)
放射線科			本山 新 中林 美日	本山 新 中林 美日	本山 新 中林 美日	本山 新/中林 美日 吉田 賢史	本山 新 中林 美日
麻酔科		予約診	上藤 哲郎	辻本 三郎	上藤 哲郎	上藤 哲郎	辻本 三郎

(注1) 内科で、診察予約をされる方は、午後4時~5時の間にお願いします。

(注2) 整形外科、小児科で、診察予約をされる方は、午後2時~4時の間にお願いします。

(注3) 泌尿器科で、診察予約をされる方は、午後4時~4時30分の間にお願いします。

(注4) 産婦人科で、診察予約をされる方は、午後2時~3時の間にお願いします。

(注1~4) 以外の科で、診察予約をされる方は、午後3時~4時の間にお願いします。(眼科・放射線科・麻酔科を除く)

(\*1) 再診の患者様のみの受付となります。

(\*2) 当面は開業医等からの紹介患者様に限らせていただきます。

市民病院は地域医療連携を促進します。市民の皆さんは、**かかりつけ医**を持ちましょう

## X線血管造影装置、マンモグラフィ装置(X線乳房撮影装置)が新しくなりました

放射線技術課

### ◎ X線血管造影装置

X線血管造影装置を2011年9月に更新しました。今回導入しました血管造影装置は、これまでの装置とは異なり、FPD（フラットパネルディテクタ）を搭載し、高画質な画像を撮影できます。また、様々なアプリケーションも充実させ、3Dイメージや3Dロードマップ（3Dで表示しながら治療支援する機能）、さらに血管造影室内でCTに近い画像を撮影できるLow Contrast Imagingなど、新しい機能を搭載しています。

X線血管造影装置は、カテーテルという細い管を血管の中に入れ、造影剤という薬剤を血管内に流すことによって、普通のX線写真では写らない、頭・心臓・肝臓・下肢など全身の血管の走行、形態、閉塞などを調べる検査を行う装置です。

また、検査だけでなく当院では、心筋梗塞などで狭くなったり、詰まってしまった心臓の血管に対してバルーン（風船）やステントを膨らませその血管を広げる治療や下肢血管の治療、肝臓などの腫瘍を栄養している血管を金属コイルやゼラチンスポンジなどの血流を遮断する物質で止めてしまって腫瘍を壊死させたり、腫瘍にカテーテルを通して薬をながす化学療法などの治療も合わせて行っています。

患者さまが安心して検査・治療を受けられますようスタッフ一同努めてまいります。何かご不安なことがございましたらお気軽にスタッフまでお申し付けください。



下肢血管造影



冠動脈造影



頭部3D-DSA



検査室

### ◎ マンモグラフィ装置 (X線乳房撮影装置)

マンモグラフィはしこりとして触れないような乳がんも映し出すX線画像です。

以前の装置では撮影中に角が当たって痛いというご意見もいただきましたが、この度導入した装置は体に当たる部分が丸くなり、痛みが軽減されるのではと考えています。また、乳房を押しつぶす圧迫板の材質が変わり、以前より押さえ方が柔らかな感じになりました。痛くてつらい検査だと思われがちですが、意外に痛くないとの声もいただきます。

40歳以上の方は市の乳がん検診も受けられますので、一度検査を受けてみませんか。

当院では検診マンモグラフィ撮影認定資格を持つ3名の女性の放射線技師が検査を担当しています。

一人でも多くの方に検査を受けていただき、早期乳がんの発見に貢献できるように努力しています。



## 新型インフルエンザ対策訓練を実施しました

「流行期に備えた対策」について対応能力の向上を図るため、関係機関が参加して、当院で新型インフルエンザ対策訓練を実施しました。市内で、病原性の高い新型インフルエンザ患者が大幅に増加したことを想定し、連絡調整、救急搬送、入院対応等の訓練のほか、感染隔離ユニットの設置やN95マスクのフィッティングテストも行いました。

**実施日時** 平成23年10月14日（金曜日）14：00～15：30

**実施場所** 感染症外来、6階東病棟他

**参加機関** 兵庫県明石健康福祉事務所、  
明石市（消防本部、総務部防災安全課、保険・健康部地域医療課、都市整備部建築室）

### 訓練想定

国内および県内にて、病原性の高い新型インフルエンザ（致死率2%）が発生している国内感染期（地域感染期）。市内においても新型インフルエンザ患者が発生しており、入院治療は重症者を対象とし、それ以外の患者には在宅での治療を要請している。

明石市内在住の55歳男性。発熱がありかかりつけ医を受診、簡易検査にてインフルエンザ陽性と診断されたが、軽症であるため投薬処方にて帰宅。自宅療養中に、呼吸困難が出現し救急要請した。



救急車到着。患者の状態を観察し、重症と判断。明石健康福祉事務所へ搬送先医療機関を確認したところ、感染症指定病院が満床であるため、明石市立市民病院へ搬送するよう要請があり、当院感染症外来へ患者を搬送する。



感染症外来で医師による診察および処置が行われ（血液検査等含む）、簡易人工呼吸器を装着する。感染病棟へ入院のため、病棟の医師・看護師が患者を迎えに行く。



病棟の感染隔離ユニット隔離エリアへ患者を移送する。  
感染病棟内で患者処置を行う。

### 訓練を終えての意見交換より

- ・感染症外来、病院内など現場業務に則した部分も含まれていてイメージできた。参加できてよかった。
- ・緊迫感があり本番のように行なえてよかったと思う。実際の現場で混乱が生じないためにも毎年訓練は必要である。
- ・関係機関相互の連携や情報共有の重要性を感じた。
- ・マニュアルだけ見ても実際にやってみないとわからないので、毎年メンバーを変えて多くの職員が訓練に参加する必要があると思う。
- ・患者の命を救うため、スムーズに搬送できるよう各関係機関の連絡系統の確認は、必ず行っておく必要がある。